

山梨県理学療法士会会報誌

# SUPPORTERS

サポーターズ

No.132 2011 冬号

山梨県理学療法士会ホームページ <http://ypta.jp/>

会員数 666 名 施設数 99 (12月8日現在)



Contents

第46回日本理学療法士協会全国学術研修大会 in 山梨  
を終わって… 2 ～ 5

全国研修大会 Photo… 2 ～ 4

各部活動報告… 6 ～ 8

公開講座部・学術研修部・地域連携部  
医療・介護保険部・スポーツPT部

お知らせ… 9 ～ 10

事務局・企画研修部・学術研修部・スポーツPT部  
リレーエッセイ Part 14… 11 ～ 12

原稿募集… 12

お詫びと訂正… 13

編集後記… 13

「supporters(サポーターズ)」とは・・・

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形の s を加え、supporters: 支える人たち(造語)の意味です。



# 第46回日本理学療法士協会 全国学術研修大会 in 山梨を終えて

大会長 小林 伸一

素晴らしい秋晴れのもと開催されました第46回日本理学療法士協会全国学術研修大会は、全士会員の思いが結集し1900人余りの参加者を得て、大過なく無事終えることができました。準備委員会を代表して、全士会員の皆様からの多方面に渡るご協力・ご支援に対し、心より感謝申し上げます。この大イベントの成功を共に喜び合いましょう。そして、共に士会の底力に自信を持ちましょう。本当にご苦労様でした。また士会創立40周年の区切りの年に、このような大きな大会を開催できる強固たる土台を築きあげて頂きました諸先輩方の長年のご苦労に対しまして、衷心より敬意を表します。

今一番の心配は、参加された皆さま方の期待に応えられたか・・・です。多くの方々の期待に副うことができましたのなら大会は大成功だと思います。

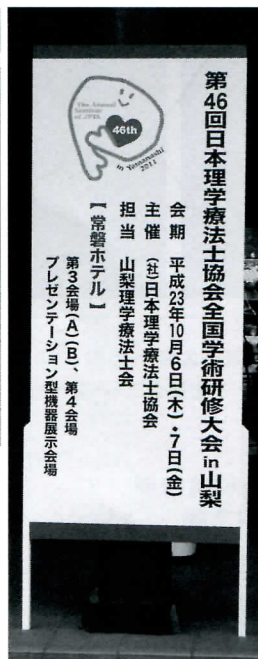
最後になりますが、平素より理学療法士並びに士会活動にご理解・ご協力を頂いております山梨県をはじめとする行政機関や医師会等医療関係団体、あるいは企業・病院施設に対しまして、改めまして感謝申し上げます。



※ちょっと小耳に・・・

大会の無事を祈り士会長は毎朝冷水で、大会長は冷酒で身を清めていたらしい・・・。

## 全国研修大会 Photo





## 研修大会を終えて

準備委員長 磯野 賢

祭りの終わりは、その祭りが盛大であるほど物悲しくなるものである。無事終わることが出来た安堵感と肩に食い込む重さからの開放、そして何か抜け殻のような感覚。祭りは終わった。この祭りをどこに何につなげることが出来るかが課題である。しかし、先にこんなに小さな県士会でも力を合せばこんなすばらしいことを成し遂げられるということを誇りにしよう。また、こんな時代に皆様を送り出してくれた病院や施設に感謝し、留守を守ってくれた仲間感謝したい。

次の時代を担う、皆さんの中に何が残っただろう。これはただの県士会の活動であり、それ以下でも以上でもない。研修会があるんじゃ出ようかなと同じものだが、何か、次につながる何かが残ったことを期待したい。ほかの病院の仲間が出来たでも飲む機会が多くなったでもなんでもいい。それこそが今回の研修大会の成果といえる。最後に大会宣言でかんでしまったことをお詫びするとともにこの大会に関わったすべての方々にお礼を申し上げます。



※ちょっと小耳に・・・

‘かんだ’ 閉会宣言と ‘涙の’ 閉会挨拶は演技だったらしい・・・。



全国研修大会 Photo

# 全国研修大会報告 (企画局)

企画局長 高村 浩 司

企画局では「原点回帰 再考・今、理学療法士に何が求められているか」のテーマを受けて2年ほど前から講師の選定を行ってきました。準備を進める上で、セッションの増減はありましたが、結果的に各分野から第一線にてご活躍されている著名な先生達にお越し頂く贅沢な企画を提供できました。

これまでの全国研修会との違いを打ち出そうと、参加人数限定のテクニカルセミナーなど参加者が受け身ではない参加型の企画を行いました。他の講演でも、特に臨床的思考を重要視する内容に重みを置き準備を進めてきました。どの講師の先生方も「山梨なら喜んで引き受けます」と快諾を頂き、これも諸先輩方が築いて頂いた人脈のおかげと企画局一同感謝を申し上げます。また、当日の実行委員の方々のみならずさまざまな立場から企画局のフォローを頂いた皆様、本当にありがとうございました。研修会終了後に講師の先生方から感謝の声が届いていますので、以下に一部紹介し簡単ですが企画局のご報告とさせていただきます。

～中略 この度は長い期間準備に奔走され、また、当日の運営も大変な中、細かいご配慮をいただき、誠にありがとうございました。大変充実した山梨を過ごさせていただきました。やはり、山梨の皆様方の hospitality は素晴らしいですね～ 以下略

～中略 会場が物理的に分かれていても、何か一体感のある運営で、実に受け付けから誘導、案内がスムーズで、シャトルバスの運営案内も大きな声で、しかもバス便ごとに会員を誘導整理する姿など、各役割を主体的に取り仕切っている山梨県士会員の行動力には感心しました～ 以下略



※ちょっと小耳に・・・

誰かイベント会社にスカウトされたようだよ・・・



全国研修大会 Photo



## 全国研修大会報告（広報・渉外局）

広報・渉外局長 杉田 隆信

「全国研修会を山梨で開催するから協力を頼む」四半世紀前にお世話になったスーパーバイザー（小林大会長）の軽くも威圧的な誘いを拒む勇氣はありませんでした。

H 20 年 12 月に決定した大会のロゴマーク募集が最初の業でした。士会員から 31 の作品の応募があり、藤波先生（しおかわ福寿の里）の「山梨を模った優しさに満ちた作品」が大会のシンボルマークに決定し、開催に向けての気運が徐々に盛り上がってきました。が、時期を同じくして、平山局長補佐の県外への長期出張、「二人で協力して渉外活動、頑張って」という大会長の言葉が、いとも簡単に崩れ落ち、不安が頭を過りました。

その後は、各学会・研修会等でのリーフレット配布、各会場の山梨ブースでの PR 等の広報活動を行い、ロゴマークをプリントしたのぼり旗・紫紺のスタッフジャンパーも山梨の PR に華を添えてくれました。

渉外活動は、資金調達の方法も全くわからず、高校の同窓会総会の資金調達と同じ様な感覚で始めてみました。そのような中、3 月 11 日に東日本を襲った未曾有の被害は、大会開催をも心配させ、多くの企業が協賛金より義援金という情勢をつくり、大会運営自体をより厳しいものにししました。そんな不安を抱える中でしたが、山梨のような小さな県・士会でしかできない結束力にて、所属施設・病院等から多くの尊い協賛を頂けたことは、大きな励みとなりました。また、その結束力が大会成功の一つの要因になったと感じています。

小林大会長の軽い誘いから始まった今回の業、準備委員の一人として、多くの方と限りある時間を共有でき、一つの目標に向かって邁進できた体験は、貴重な思い出となりました。日々の業務の合間をぬっての準備で大変な事もありましたが、多くの友と呼べる仲間にもめぐり会え、確かな絆も生まれたことと思っています。

終了した今は、このような機会をいただき、始まる前の甘い誘いの言葉が 25 年来のスーパーバイザーの優しくも温かい誘いだったと思え、感謝の念で一杯です。ロゴマークの作者が作品に込めた「私達山梨県の理学療法士は、患者様に寄り添う熱いハートを持っています」という思いは、今後も末永く山梨県士会に引き継がれていくことと思っています。

ご協力の程、色々とうございました。



※ちょっと小耳に・・・

運営係の人達って実はセミプロらしいよ・・・。

# 各部 活動報告

## 企画局 公開講座部発 平成23年度「公開講座」報告

平成23年度山梨県理学療法士会主催の公開講座が11月13日、かいてらすで開催されました。今回はユニバーサルデザインの商品開発・モデル、バリアフリー啓発講師などでご活躍されている鈴木ひとみさんをお招きし、「車イスからの出発(たびだち)～絶望の淵から這い上がるまでの軌跡～」をテーマにご



講演いただきました。参加者数は一般の皆様を中心に、県士会員も含め、約120名でした。講演内容は、鈴木さんが交通事故により車イスでの生活になり、まさに絶望の淵から這い上がっていく様子をありのままに話されました。震災からの復興の真っ只中、勇気をもらえるような力強い講演でした。

最後に研修会にご参加いただいた皆様、また、広報活動など今回の企画にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

- 問い合わせ先：企画局公開講座部 井村順治  
(恵信甲府病院リハビリテーション室内 TEL 055-223-7333)

## 学術局 学術研修部発 第3回学術研修会報告 (参加人数：83名)

- 日時 平成23年11月20日(日)
- テーマ 「糖尿病の理学療法 ～基礎・神経障害・生理～」
- 講師 健康科学大学 理学療法学科  
石黒友康先生 村松 憲先生

平成23年11月20日に山梨市民会館にて開催されました第3回学術研修会に参加しました。「糖尿病の理学療法 ～基礎・神経障害・生理～」と題しまして、健康科学大学の石黒友康先生と村松憲先生に講義をして頂きました。

石黒先生は、糖尿病を臨床から症例を通してどのようにアプローチしたら良いか詳しく教えて頂きました。特に糖尿病の方の特徴として、病識が少ない方が多いと仰っていました。実際に患者さんを診るとそのような傾向が多い様な印象を受け、個人因子として考慮しなければならないと感じました。

村松先生は、基礎実験から糖尿病の機序や神経症状の変化について詳しく述べていただきました。血糖コントロールが十分に行われていない時には運動神経が損傷されやすいとの実験結果は大変興味深く、患者さんでも運動を考慮しなければならないと感じました。

実験を通して得られたことを臨床現場に活かし、また臨床の場で得られた疑問を基礎研究で解明していくことの大切さが分かりました。

甲州リハビリテーション病院 佐野史歩

- 問い合わせ先：学術局学術研修部 名取大輔  
(甲府共立病院リハビリテーション科内 TEL 055-226-3131)





## 福祉厚生局 地域連携部発

### 「第11回地域理学療法研修会」報告



第11回地域理学療法研修会は、平成23年11月6日(日)に健康科学大において医療法人真正会コミュニティケア部 岡野英樹先生をお招きし、『在宅生活を支えるために・・・～理学療法士としてどう関わるか～』をテーマにご講義して頂きました。3月の震災の影響により約8ヶ月遅れでの開催となりましたが、研修会には若い先生方から在宅リハビリに関わっている先生方まで多数のご参加を頂きました。

前半の講義では、「在宅を見据えたアプローチの実際 ―ある実践例をとおして―」と題し、事例を挙げて在宅での理学療法士の関わり方を述べて頂きました。心身機能や能力の向上ばかりに目を向けるのではなく、入院時から在宅生活を考えてアプローチすることで、退院後の生活での課題を減らしていくという考え方を学ばせて頂きました。また、在宅リハは、単に身体機能を維持・向上させるだけではなく、日常の生活への復帰と社会生活からの孤立を防ぎ、閉じこもりを予防するという大切な役割であることをご教授いただきました。



後半の講義では、来年度の医療・介護の同時改定のトピックスを交えたお話しをして頂きました。その後、各グループに分かれ、退院を間近に控えた模擬患者を用いてグループディスカッションを行いました。その人らしい生き方から、その人らしさにアプローチするリハビリプログラムを考えていくという事の大切さや難しさを痛感する研修会となりました。

北杜市立塩川病院 山口 茉希

- 問い合わせ先：福祉厚生局地域連携部 中部大也  
(北杜市立塩川病院リハビリテーション科内 TEL 0551-42-2221)

## 福祉厚生局 医療・介護保険部発

### 「医療・介護保険部合同勉強会」報告

医療・介護保険部合同勉強会が10月20日(甲斐市敷島総合文化会館)、28日(山梨県青少年センター)に開催されました。テーマは「診療・介護報酬に関する基礎的勉強会」とし、経験年数3年目までを主な対象として開催しました。参加者は両会場合わせて42名(新人27名、2年目以降15名)でした。

医療・介護保険共に保険全般の基礎的内容からリハビリテーション分野における診療、介護報酬・各算定条件などについての講義内容でした。今回の勉強会は医療・介護保険制度を理解する為の良い機会になったと思います。

2012年には診療報酬・介護報酬の同時改定があります。医療・介護保険部としても、新しい情報を提供できるよう鋭意努力して参ります。

湯村温泉病院 原 啓太

- 問い合わせ先：福祉厚生局  
医療保険部 小林泰彦 (白根徳洲会病院理学療法室内 TEL 055-284-7711)  
介護保険部 河野裕一 (市川三郷町立病院リハビリテーション科内 TEL 055-272-3000)

# 社会局 スポーツPT部発

## 東京染色機械製作所 (TOSEN) クリーン・ファイターズと関わっての1年間

石和温泉病院 栗本大資

昨年の1月からスポーツ理学療法部の部員として活動をさせていただき、社会人ラグビーチーム TOSENクリーンFに帯同しています。私自身、高校時代に友達の勧めでラグビー部に入部し、ラグビーの魅力にどんどん惹かれていきました。そして今度はプレーする側から指導する立場として関わってみたいと思い、チームへの帯同を決意しました。ラグビーは、野球やサッカーとは違ってメディアからの情報が少なく、周囲からは、「タックルされて痛そう」「ルールがよく分からない」等、聞かれます。しかし、今年はラグビーワールドカップもあり、ニュースなどからラグビーに関する話題が増え、周りからも注目が集まってきたのではないかと思います。

私が関わっているTOSENクリーンFは、山梨市にあり、関東社会人ラグビー トップイーストリーグを目指しているチームです。部員数総勢32名、今年からトンガ人2人と新人8人が加入した新体制で練習に励んできました。9月の本大会に向け、普段の練習や練習試合、夏合宿などを経て、選手への身体ケアやテーピング指導に携わってきましたが、トレーニングや試合を重ねることで怪我をする選手は少なくはありませんでした。実際の現場では選手への配慮ができない上、コンディションの変化を見ることが出来ず、自分の知識不足を痛感し、ただ立ち尽くすことしかできないまま、先輩方に助けてもらうことばかりでした。また、限られた時間の中で結果を出し、試合前にコンディションを整える難しさを知り、「結果が全て」と感じさせられることもありました。

現在、日々の努力もあり、リーグ戦負けなしで優勝を目指して12月の最終戦へ挑みます。また、7人制ラグビーの日本代表選手もTOSENクリーンFから選ばれてオーストラリアに行っています。私も選手たち全てが100%の力を発揮できるように全力で選手に向き合い、今後もメディカルの知識・技術を向上させていきたいと思っています。



今年の目標：“POWER OF WILL”

- 問い合わせ先：社会局スポーツPT部 小尾伸二  
(山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部内 TEL 055-273-9805)



## 事務局より

### ●変更手続きについて●

会員データに変更（異動・休会・復会・退会）がありましたら、届出が必要になります。HPに、各種届出用紙があります。郵送にて、早急に手続きを行って頂けるようお願いいたします。

**入会をされていない新人会員の方は、会員登録するようお願いいたします。**

- 異動（勤務先変更・自宅住所変更・改姓・転出入等）が生じた場合は、速やかに事務局へ異動届をご提出ください。
- 各種届出用紙（異動・休会・復会・退会）は協会HP及び士会HPにてダウンロードできます。
- 県外異動については、異動前及び異動後の各都道府県士会事務局へ提出下さい。
- 提出時には捺印のご確認をお願いします。（捺印がない場合、処理致しかねます）

### ●慶弔申請の窓口は事務局です●

慶弔事項（一親等及び配偶者）が発生しましたら、電話番号・住所等を事務局まで速やかにご連絡をお願いします。

### ●財務部より：楽天カードへの切り替え●

来年度からの、日本理学療法士協会・山梨県理学療法士会会費徴収は、原則として『楽天カード』にて行われます。ニコスカードから楽天カードへの切り替えがお済みでない方は、『楽天カード（日本理学療法士協会会費徴収用）』の発行をお早目をお願いいたします。お手数ですが円滑な士会運営の為、会員のみなさまのご協力をお願いいたします。

ご不明な点につきましては、下記の問い合わせ先にご確認下さい。

- 問い合わせ先：事務局 斎藤  
(甲府城南病院リハビリテーション科内 TEL 055-241-5811)

## 企画研修部 研修会ご案内

- 日 時（予定）：平成24年3月9日 19時開始 21時終了
- テーマ（仮）：「これから求められる接遇について」
- 講 師：雨宮恵美先生（保健・医療・福祉サービス研究会）
- 会 場（予定）：大木記念ホール
- 問い合わせ先：企画局企画研修部 大西正紀  
(甲州リハビリテーション病院理学療法科内 TEL 055-262-3121)

## 第4回山梨県理学療法士会 学術研修会のご案内

- 日 時：平成24年2月5日(日) 10:00～16:00
- テーマ：車椅子のシーティング ～基礎と評価～
- 講 師：日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科  
作業療法学専攻 専攻長・教授 木之瀬 隆 先生
- 対 象：士会所属理学療法士 ●参加費：500円 ●定 員：70名
- 会 場：ホテル クラウンパレス甲府
- 申込先：石和共立病院 入院リハビリテーション室 学術局学術研修部 新井  
TEL：055-263-3131 FAX：055-263-3136
- 申込締め切り：平成23年12月22日(木)
- 問い合わせ先：学術研修部 名取大輔  
(甲府共立病院リハビリテーション科 TEL：055-226-3131 FAX：055-226-3158)
- その他
  - ①定員が70名と限られているため、応募多数の場合は申し込み人数が少ない施設の先生を中心に  
選考させていただきます。受講可否は、平成24年1月14日(土)までに郵送にて連絡させて  
いただきます。
  - ②キャンセルについては1月20日(金)まで電話にて受け付けます。

## 学術研修部 部員募集

学術研修部は、定期的開催される学術研修会の企画・運営をしています。県士会員の先生方のご意見をお聞きしながら、より良い研修会を開催していきたいと思っております。著名な先生や興味のある分野の研修を企画・運営したいと思うなら・・・是非、部員になって一緒に活動しませんか？ 興味のある先生は、下記までご連絡ください。

- 活動内容：年間の学術研修会の企画・運営(月1回の会議も含む)
- 連絡・問合せ先：甲府共立病院 リハビリテーション科 名取大輔  
TEL：055(226)3131 FAX：055(226)3158  
E-Mail：11-riha@yamanashi-min.j

## 第47回スポーツ理学療法勉強会のご案内

- テーマ：「勝利に貢献できるスポーツ理学療法とは」
- 講 師：清泉クリニック整形外科 スポーツ医学センター施設長 脇元 幸一 先生
- 日 時：平成24年1月11日(水) 19:00～21:00
- 場 所：中央市玉穂生涯学習館 視聴覚ホール
- 参加費：無 料
- 連絡先：山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部 PT小尾・八木野・山内  
TEL 055-273-9805 FAX 055-273-8372  
E-mail sobi@yamanashi.ac.jp



# リレーエッセイ ～途絶えることのない バトンを君に～

『リレーエッセイ』とは・・・

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい（ただし、誹謗や中傷の内容は除外します）ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

今までの Supporters にあった「会員のひろば」と違い、会員同士の輪を広げるといって、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

## Part14-1

山梨リハビリテーション病院 嶋田浩平

国立病院機構甲府病院の浅野厚雄先生からバトンを預かりました山梨リハビリテーション病院の嶋田浩平です。

山梨リハビリテーション病院にはフットサル、バレーボール、バスケットボール、登山、野球（ソフトボール含む）部があり、私は野球部に所属しています。業務終了後、月に1～2回程度の練習日を設けています。しかし、人数が集まらず中止になる事が何度も・・・。

毎年、笛吹市の野球大会と病院協会のソフトボール大会に参加しています。



皆さんは病院協会のソフトボール大会を御存知ですか？

先日、11月20日に病院協会のソフトボール大会が開催される予定でした。しかし、前日の雨により残念ながら中止となってしまいました。病院協会ソフトボール大会の過去3年間の結果は2008年城東病院さん、2009年山梨リハビリテーション病院、昨年の2010年は石和温泉病院さんが優勝を飾っています。

今回中止になりました病院協会ソフトボール大会は来年3月18日又は20日に順延される可能性があるようです（未定）。

応援に行かれてみてはいかがでしょうか？

次回は、『富士温泉病院の河原忠司先生』へバトンをお渡しします。

## Part14-2

富士温泉病院 小野寺 智 予

この時期の晴れた通勤時、山々にうっとりし、自分の後ろに車が連なってしまふのは私だけでしょうか。

先輩方の指導のもと、登山歴4年となりました。今年は茅ヶ岳に始まり、乾徳山、七面山、北岳、富士山、赤岳と、月1回のペースで登山に連れて行ってもらっています。なぜ大変な思いをして山へ登るのか？ とよく尋ねられますが、自然の中に生かされている自分を実感し、落ち着けると同時にパワーをもらえます。そして何より、山頂で食べる魚肉ソーセージと、下山後の温泉は格別です。とは言っても、やはり登山は大変で疲れます。登山が効率よく行える身体能力・動作方法を身に付けること、登山後に疲労を残さないためのセルフケアを試行錯誤中です。来年も登山を通じ、心身ともにパワーアップしていけたらと思います。皆さまにとって、2012年が素敵な年となりますように。



今回は、『竜王リハビリテーション病院の

工永 雅子先生』へバトンをお渡しします。

## 原稿を募集しています

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。

テーマ等は自由です。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他



内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

※第133号発行は、3月上旬を予定している為、締め切りは、1月下旬です。

問い合わせ先：広報局 会報部 菊池 悟

(一宮温泉病院 いちのみや訪問看護ステーション TEL 0553-20-5255)

E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp



## ●●お詫びと訂正●●

平成23年9月に発行いたしました、前号のNo. 131 2011秋号の「特集：新人理学療法士」におきまして、「貢川整形外科病院」の施設名を誤って「貢川整形外科クリニック」と掲載してしまいました。正しくは、「貢川整形外科病院」です。所属先の先生方、並びに施設関係者の方々には多大なご迷惑をおかけしまして、大変申し訳ありませんでした。今後は、このような間違いを起こさぬよう、会報誌作成に努めていきたいと思っております。

会報部 菊池 悟

## 編集後記



今年も残りあとわずかとなりましたが、2011年冬号は全国研修大会の報告を中心とした内容とさせて頂き、無事会員の皆様にお届けすることが出来ました。お忙しい業務の中、ご協力頂いた先生方には、心より感謝申し上げます。

これからも会員皆様一人一人の声が聞こえてくるような会報誌にしていきたいと考えております。今後も会報部の活動にご協力よろしく申し上げます。

厳しい寒さが続きますが、会員の皆様におかれましては、体調を崩さぬようお体をご自愛下さい。

菊池 悟



- 発行 ● 山梨県理学療法士会
- 代表 ● 谷村 英四郎
- 企画・校正 ● 菊池 悟 水上 卓 小野 貴博 糸井 美里 矢崎 博美
- 編集・印刷 ● 有限会社 ナカガワ
- 会報部 ● 〒405-0077 山梨県笛吹市一宮町坪井 1754  
いちのみや訪問看護ステーション TEL 0553-20-5255 / FAX 0553-20-5256  
一宮温泉病院 TEL 0553-47-3131 / FAX 0553-47-3434  
E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp